



令和6年度 中郡小学校だより

くすのき



令和6年9月30日

地域とともにある中郡小 ～学校運営協議会を中心に～

中郡小学校では令和2年度にコミュニティ・スクールを導入し、今年度5年目となりました。コミュニティ・スクールとは、「地域住民や保護者の代表」「学校支援コーディネーター」等を委員とする【学校運営協議会】を設置し、学校運営に保護者・地域住民の声を積極的に生かし、学校と地域とが一体となって教育活動の充実や学校運営の改善を図ることができる仕組みのことです。「学校支援コーディネーター」という言葉は、耳なじみが薄いかもしれませんが、学校運営協議会での話し合いを受け、学校の運営に必要な支援（授業支援、環境整備など）をするために、学校と地域をつなぎ、地域の皆さんによる学校支援活動を推進する役割を果たしています。

中郡小学校の運営協議会は、『地域は学びの応援団 中郡っ子と一緒に 夢つむぎます』をスローガンとして掲げ、年間4回「中郡地域としてどのような子供たちを育てたいか」「そのために何を実現していくのか」等について熟議し、目標やビジョンを学校と地域とで共有しています。オブザーバーとして、積志協働センターの方も参加し、学校支援のサポートをしてくださっています。子供たちの豊かな成長を支えることにつながっています。

<集団下校 9月4日>

一昨年度、突然の大雨により学校周辺や学区内の様々な場所が冠水し、子供たちを学校に留め置いた後、下校させるということがありました。その反省をもとに、昨年度から、防災訓練として「地区ごとの集団下校」を行っています。

今年度は、2学期最初の訓練に地域の方々が加わり、子供たちと一緒に歩きながら、通学路の危険箇所を確認してくださいました。これは、1学期に開催した学校運営協議会の中で、「中郡地区の子供たちには、自分の命を自分で守ることができる力や災害時に地域の一員として共助活動ができる力を育みたい、そのための環境づくりを地域と学校が一体となって進めていこう」と話し合われたことによるものです。学校運営協議会委員の皆さんが中心となって地域に呼び掛け、自治会長さんや民生委員・児童委員さんなど、中郡小学校区内の全自治会から各2人以上の方々が協力してくださって実現しました。

次回の学校運営協議会では、子供たちと地域の皆さんとが一緒になって見つけた危険箇所を整理し、今後の取組について話し合う予定です。



< ハートフルサポーター >

学校運営協議会の中で、「学校支援は、子供たちと地域の方の温かなふれあいの機会になってほしい」という願いから、ボランティアではなく、ハートフルサポーターと呼ぶことに決めました。生活科・書写・図工・家庭科・総合的な学習、交通安全リーダーと語る会、花壇づくりなど、毎年、延べにして、全校児童数より多い皆さんが、子供たちの教育にかかわってくださっています。教育活動の充実につながっています。



「あ・ゆ・み」を成長につなげる

10月7日(月)、4～9月までの学習への取組の様子をお知らせする「あゆみ」を渡します。「あゆみ」には、次のような意味があります。



あゆみの「あ」は、新しい目標を見つけるため

あゆみの「ゆ」は、夢をかなえる力を身に付けるため

あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会うため(自分の得意やよさを知る)



御家庭でも、是非、お子さんの頑張りやよさを認め励ます言葉掛けに生かしていただければと思います。「あゆみ」が、一人一人の子供にとって、頑張りや成長、自分磨きにつながるものになることを期待しています。

(校長)

< お知らせ >

6月の学校だよりにてお知らせしましたように、10月から、学校だより・学年だより・保健だより等の各種便りは、「さくら連絡網での配信」のみになります。

ただし、給食献立表のように子供たちの安全にかかわる手紙や、目につくところに貼り、御家庭で確認していただきたい内容の手紙については、「さくら連絡網による配信と紙面の配付」を行います。保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

なお、学校だよりの地域回覧は、自治会長の皆様の御協力をいただきながら、今後も継続していきます。